

編集後記

- 総選挙が行なわれることとなったが、その争点の中に消費者物価の問題がある
- 消費者物価の主役のうち食肉がある。緊急輸入の措置をしたが騰勢には余り影響していない。
- 肉豚は春過ぎから上昇をし始め、夏秋にかけて暴騰した。肉豚の価格が上れば子豚も上り、それが養豚農家の飼育意欲を失わせようとしている。
- 農林省では、子豚の供給と価格を安定することによって豚肉相場も安定し、特に子豚生産農家と肉豚肥育農家をうまく結ぶことによって豚肉生産を計画化することができるとして「子豚価格安定基金制度」を主要生産県に設けることとしている。
- 食糧消費構造の変化に伴って、消費が着実に伸びているのであるから、基金制度を立派に育てあげたいものだ。
- 和牛は食肉として重要な資源であり、また草食性の動物だから飼料の輸入依存度も比較的少なくてすみ、経済的であるといえる。その和牛の生産が危機に立たされている。
- このように抜本的対策が必要であるこのとき、県では和牛、ジャージー牛については、本文にあるように懇話会を設け、また養豚については懇談会の決定により、種豚改良協議会が設けられた。今後の活動が期待される。

